

商船三井、東電向け石炭船「白鷹」が竣工

Edited By LogisticsToday On 2015/03/26



商船三井は26日、東京電力向け石炭専用船「白鷹」がサノヤス造船水島製造所で竣工したと発表した。

白鷹は商船三井がサノヤス造船と共同開発し、安全・省エネ仕様を採用した最新の幅広浅喫水石炭船で、2014年2月に竣工した「暁」、同年7月に竣工した「相馬丸」に続くシリーズ3船目。

東京電力との新たな長期積荷保証契約の下、石炭火力発電所向け石炭輸送の中心的な役割を担う。

■HAKUTAKA（白鷹）の概要

全長：235メートル

全幅：43メートル

型深：20メートル

載貨重量：10万4819トン

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/154222>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.